



TITLE:

支部通信 : 支部だより

AUTHOR(S):

CITATION:

支部通信 : 支部だより. 天界 1937, 17(197): 429-429

ISSUE DATE:

1937-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167529>

RIGHT:

支部通信

支 部 だ よ り

會員の協會である本會は各地に支部を設置し常に會員相互の親睦と天文研究發達趣味の普及とに努めて参りました。本號より本欄は此の形式で各地支部より寄せらるゝ報告を總括發表致しますから支部通信は従前通りの形式で地方部宛に御報告を願ひます。

去る3月7日には本會の臨時總會を大阪に開催京・阪・神を始め遠來の會員多數の出席あり、20日は大阪の例會山本會長の講演、21日京都ハイキングを醍醐に。

4月には24日本部例會を植物園にて 滑川博士の氣象講演、28日は大阪例會百濟先生の講座、双方共盛會。

5月5日土佐南國博の好評の天文館も閉館、22日に高知高校で例會支部長の講演、同日大阪の例會は毎回乍らの盛會、愈々火星も接近し各地に觀望會の鼎立、24日に先づ大連で滿鐵寮舎に於いて開會、29日に大阪は雲雀丘伊達觀測所にて、30日は京星會は府立一中にて合同して何れも盛況。

6月9日より4日間は尼崎圖書館の火星觀望一般公開、9日に大阪都島第4小學校で稻葉・公文・高城諸先生の「時の講演會」⁷ 參會300人位、12日には兵庫縣柏原中學校で5.8極屈折による觀望會、小林・足立兩君の今後共に盡力を期待、19日に高知の測候所見學と所長の講演、大阪の例會も同日で共に寬いだ會合、7月10日大阪の例會あり。

各支部發行の印刷物は京星會回報13より18までを1月から5月中、京星12・13を1・4月に、星光2號が3月に、高知星の會月報が6月に第1號20頁100部を發行、以下順調なる發行を期待す。大阪支部報は22より25までを4月より7月中に、天界副讀本「銀河」の第3・4號は5・7月に發行。

大連支部は滿洲支部に改組、大連・鞍山・撫順・新京・哈爾賓・四平街・克山・海拉爾にまで本會員は散在してゐる。

7・8・9月中は大阪プラネタリウムは夜間20時より1回を公開、8月9日より15日まで大阪支部主催の生駒山上の觀測指導キャンプは中12・13・14日を「納涼天文の夕べ」として大々的に一般公開の番組決定。（別掲參照）（周星）